



国立病院機構

南九州病院

地域がん診療病院

日本医療機能評価機構認定病院

CONTENTS

巻頭	紹介受診重点医療機関について	1
特集	高精度放射線治療センター開設しました	2
NANKYU TOPIC 1	〔療育指導室〕	
	久しぶりの院外活動	4
NANKYU TOPIC 2	〔管理課〕	
	災害訓練の実施について	4
NANKYU TOPIC 3	〔検査科〕	
	臨床検査技師の業務	5
NANKYU TOPIC 4	〔リハビリテーション科〕	
	第77回国立病院総合医学学会に参加して	5
	人事異動	5
	●連携室だより	6

南九 だより

MINAMI KYUSHU HOSPITAL

2023 秋号
VOL.37

院是『病む人に学ぶ』

患者さんとともに、安全で良質な、
理想の医療の実現を目指します。

国立病院機構理念

国民一人ひとりの健康と、我が国の医療
の向上のために、たゆまぬ意識改革を行
い、健全な経営のもとに患者の目線に立
って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い
臨床研究、教育研修の推進につとめます。



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization

紹介受診重点医療機関について

経営企画室長
松尾 俊宏

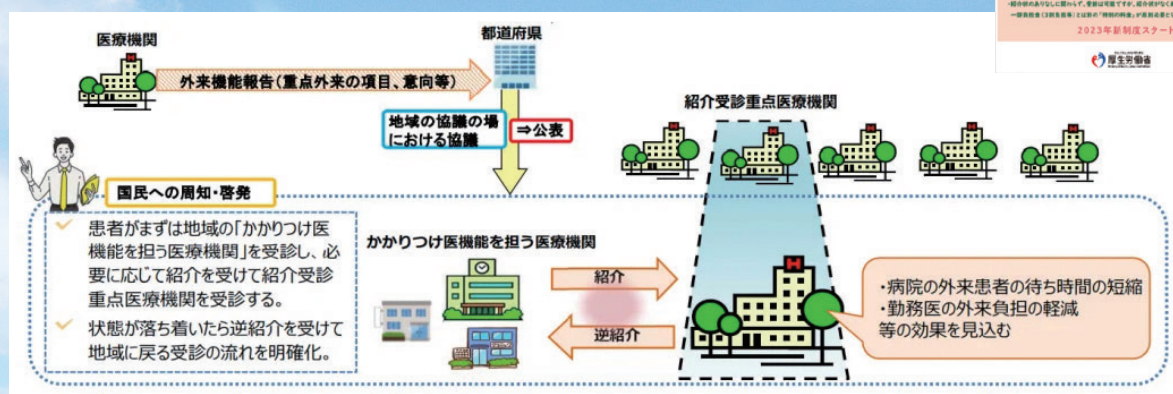
紹介受診重点医療機関は、外来機能の明確化・連携を強化し、患者さんの流れの円滑化を図るために、都道府県から公表された医療機関です。

患者さんはまず地域の「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じてかかりつけ医からの紹介で紹介受診重点医療機関を受診する、その後状態が落ち着いたなら逆紹介を受けてかかりつけ医に戻る、といった受診の流れを明確にするのが目的です。

この制度により、外来診察の待ち時間の短縮や医師の負担軽減の効果が期待されます。

なお、令和6年1月より、紹介状がなく来院された場合は、一部負担金（3割負担等）とは別に、「特別の料金」として、初診時7,000円（税込）、再診時3,000円（税込）をいただきます。

当院は、地域のかかりつけ医機能を担う医療機関の皆さまと良好なネットワーク作りに努め、互いに連携・協力して診療にあたることで、地域の医療の充実に貢献したいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。



高精度放射線治療センター 開設しました

南九州病院では、放射線治療装置を一新し、Varian 社製TrueBeam が導入されました。11月13日から治療開始しています。

院内各科との連携はもちろん、始良・伊佐保健医療圏および曽於保健医療圏で唯一の放射線治療施設として、地域の皆様に安心・安全な放射線治療を提供するために「高精度放射線治療センター」として立ち上がりました。最先端の強度変調放射線治療や定位放射線治療も、目的に応じて実施してまいります。



放射線治療とは

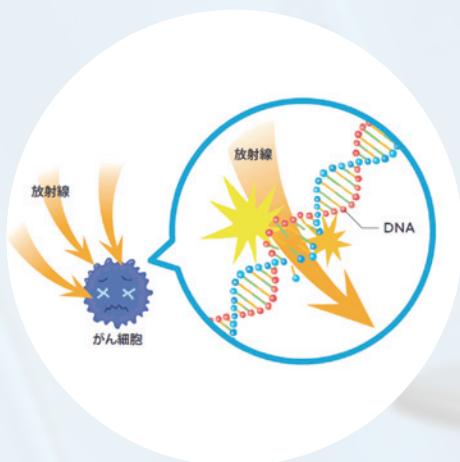
放射線治療はがん治療の重要な選択肢です。がんの治癒や症状の緩和を目指し、手術や化学療法（薬物療法）と並ぶ治療の柱です。放射線はがん細胞のDNA を破壊し、結果としてがん病巣の死滅が促されます。

最新の放射線治療装置の進歩により、精密な照射が可能となり、周囲の正常組織への被害を最小限に抑えることができます。これにより、患者さんにとってより身体に優しい治療が実現しています。疾患によっては仕事を続けながら、外来で治療を受けることも可能です。

VMAT（回転式IMRT）

新しい治療装置の目玉機能の一つです。

患者さんの周囲を放射線発生装置が回転しながら、患部に放射線を照射します。回転しながら照射ビームの形、出力を自在に変化させることで、がん組織に放射線を集中させ、かつ正常組織への線量をより低減させることが可能となります。従来の装置に比べてより短時間での治療が可能であり、快適な治療が実現されました。がん組織（患部）へ正確な線量を投与しつつ、放射線をできるだけ当てたくない場所へは、より線量を低減することができるようになりました。左は前立腺がんの放射線治療で、できるだけ放射線を当てたくない場所（直腸）をくりぬいて照射している様子です。



定位放射線治療

定位放射線治療は、数cm程度の小さな病巣に対して正確な位置合わせを行い、1回の照射で通常の放射線治療の数倍の高線量を照射する治療法であり、ピンポイント照射とも称されます。高線量を投与することで高い局所効果が得られる一方、周囲の正常組織の線量は低く抑えられ、副作用を軽減できます。早期肺がんや肝臓がんが代表的な適応疾患ですが、その他の疾患でも公的医療保険を用いて治療が可能な場合がありますので、お気軽にご相談ください。

公的医療保険で適応としているがん・費用について

南九州病院高精度放射線治療センターでの放射線治療は保険診療ですので、高額療養費制度が適用されます。また、適応となる代表的な疾患は、前立腺がん、肺がん、転移性がんなどをはじめとして、体内にできるほとんど全てのがんが対象です。

治療の流れ

放射線治療は放射線科だけではなく、他の科と協力することでより良い治療が可能になります。例えば、前立腺がんならば泌尿器科と、肺がんならば呼吸器外科・呼吸器内科というように、お互いに専門分野で協力しながら治療をすすめて行きます。以下に治療の流れを説明します。

1 検査・診断

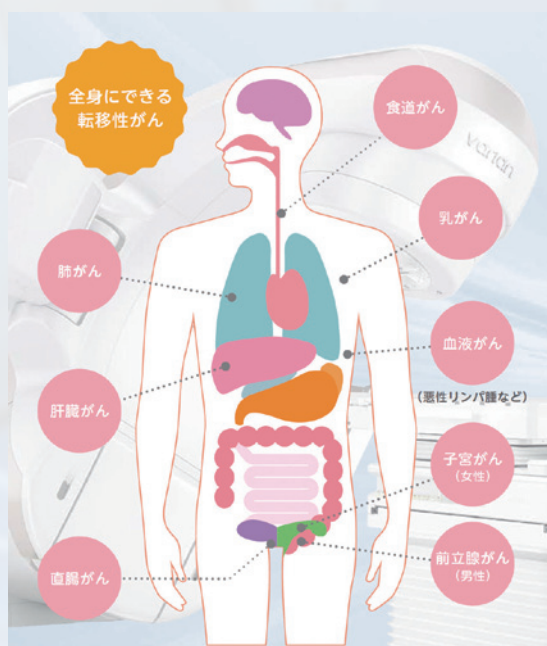
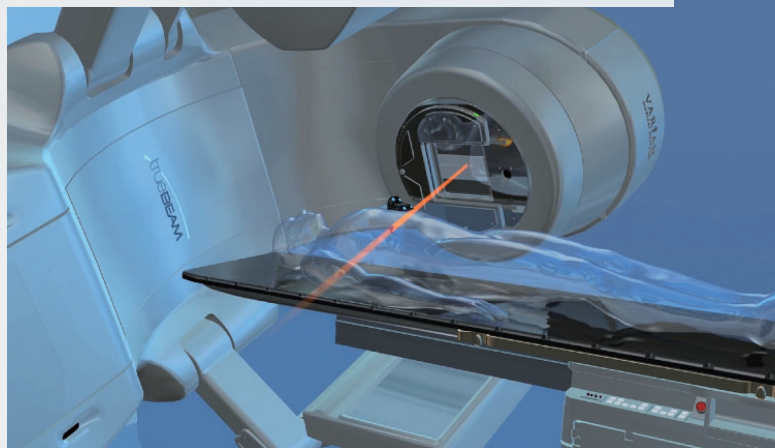
まずはかかりつけ医で検査をすすめ、診断を付けていただきます。その結果、放射線治療の必要があると判断された場合、南九州病院高精度放射線治療センター宛てに紹介状を作ってください、予約の上で南九州病院を受診してください。

2 初診

放射線治療専門医・放射線腫瘍医があなたを診察し、提供して頂いたデータも参考にして放射線を当てるべき部位、適切な照射量、期間を決定します。

3 治療準備

放射線の量や範囲は専用のコンピューターソフトで計算されます。これに用いる治療計画用のCT画像を撮影します。場合によっては専用の固定具を作成し、MRIを撮影することもあります。



4 治療開始

原則的に治療は1日1回、10～30分程度です。これを平日に毎日行います。土日や祝日はお休みです。治療期間は疾患・目的により異なり、1日で終わるものから1ヶ月前後かかるものまで様々です。また、場合によっては、1日に2回の照射や数日おきの照射が必要な場合もあります。治療中は定期的に医師、看護師による診察を受けて頂き、副作用があれば適切に対処します。

5 治療終了

終了後の経過観察は、定期的にかかりつけ医で行っていただきます。

久しぶりの院外活動

コロナウイルスの影響で長らく中止となっていた院外活動が今年度から再開しました。院外活動とは、利用者さんが希望される場所へ外出をする活動のことです。医療的ケアが常時必要な利用者が多い為、必要に応じて看護師付き添いのもと実施しています。



イオンタウン始良でお買い物を希望された利用者方は、充実した院外活動となるように、買い物リストを作成されていました。そのリストに記載されている全ての物をチェックできるよう、一緒に見て回る順番を決めることもしました。

実際に外出されると、「これも買おうかなー、悩むなあ」「以前と変わっているところがある!」等と、嬉しさや驚きの発言が聞かれました。帰棟後には、体調の変化がないかを確認します。その際に病棟スタッフからの「おかえり、何を買ったの?」等の声かけに対して、満足気な笑顔で応じられていました。限られた時間の中ですが、また行きたいと思って頂けるような活動にできるよう、利用者さんの思いに寄り添いながら、今後も実施していきたいと思います。

災害訓練の実施について

令和5年10月13日(金)に災害訓練を実施しました。災害の想定は、南海トラフ地震を想定した震度5強の地震で、商用電源が停止し非常用電源となり、電子カルテも使用不可となるものです。

訓練内容としては、13時30分に訓練地震発生後、災害対策本部を立ち上げ、各部署・部門ごとに患者や職員、医療機器、ライフライン等の状況確認を行い、その後、本部からの指示のもとトリアージ部門を立ち上げて、外部からの患者を受入れるトリアージ訓練を実施しました。

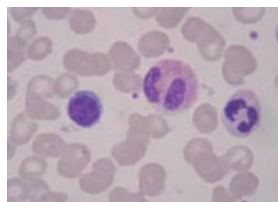


訓練の中で、情報の伝達や把握がうまくいかない部分がありました。実際の災害では、訓練時よりもさらに混乱している中で情報を整理して状況判断をしていく必要があるため、正確かつ迅速に報告や伝達ができるような体制づくりが必要となります。他にも確認できた課題や反省点がありますので、今後マニュアルに反映させ、災害時にスムーズに対応できるように備えてまいります。

臨床検査技師の業務

皆さんは臨床検査技師についてどれくらいご存じでしょうか。近年新型コロナウイルスが流行したことでPCR検査の関心が高まり、それと同時にその検査を行う職業として臨床検査技師が認知されてきている印象を受けます。しかし今でも「臨床検査技師って何するの?」と質問を頂くことが度々ありますし、その業務内容まではあまりご存じない方も多いのではないのでしょうか?

私達は医師の指示のもと、病気の診断や治療方針の決定、治療効果の確認のために必要な検査を行っています。行う業務として「生体系」「検体系」「形態系」の大きく3つに分かれています。心電図やエコー検査、肺機能検査のように患者さんの体から直接情報を記録して体の状態を調べる「生体系」。血液や尿などの検体



を用いてそれらの成分を調べる「検体系」。体から採取された臓器や組織、喀痰や尿中に含まれる細胞等を顕微鏡で観察・評価を行う「形態系」。

このように病院で行う様々な検査に私達は携わっています。

また検査を行うための機械等の管理も業務の一つです。私達の報告は患者さんの治療や診断に大きく影響するため、常に信頼ある検査を行わなければなりません。ときに1分1秒を争う医療の現場では、正確な検査結果を迅速に提供することが求められます。そのためにも検査機器や試薬の管理をはじめ、検査結果に影響する要因に目を光らせています。

私達が患者さんと病院で直接関わる機会は多くありませんが、皆さんが安心して検査を受けられるよう日々の業務に取り組んで参ります。



第77回国立病院総合医学会に参加して

今回、第77回国立病院総合医学会にてポスター発表をさせていただき、ベストポスター賞を受賞することができました。今回の発表を行うにあたり指導・助言・協力をいただいたスタッフ、研究に協力いただいた対象者の方々に感謝を申し上げます。

今回は小児に対するCI療法の日常生活への効果についてケースシリーズとして発表させていただきました。CI療法は片麻痺に対する治療法としてエビデンスが確立されていますが、本邦の小児領域ではほとんど実践がないため、当院での取り組み内容と結果を療法士の視点で報告する目的で発表を行いました。

当日の質疑応答では、療法士だけでなく、様々な職種の方から多くの質問をいただき、大変に興味をもっていただくことができました。どのように治療を進めているか、どの時期に行うべきか、多職種とどう連携するかなど非常に有意義な意見交換をさせていただきました。今回の経験を今後の実践に活かしていきたいと思います。



人事異動

採用

発令日	氏名	所属・職名	異動事由
R5.9.1付	橋本 峻我	臨床研修医（神戸医療センターより） 9月1ヶ月のみ	採用
R5.10.1付	水谷 太郎	臨床研修医（神戸医療センターより） 10月1ヶ月のみ	採用
	福留 康太	4病棟 非常勤看護師	採用
	隈元 文	4病棟 非常勤療養介助員	採用
R5.11.1付	平川 大樹	臨床研修医（神戸医療センターより） 11月1ヶ月のみ	採用

転出
退職

発令日	氏名	所属・職名	異動事由
R5.9.30付	森元くみ子	3病棟 看護師	退職
R5.10.31付	菊池 薫	9病棟 看護師	退職

外 来 診 療 案 内

2023年11月 現在

区 分	受付時間	科 目	月	火	水	木	金
成 人 外 来	8:30～11:00	呼吸器内科 (予約制)	(新) 是枝 快房		東元 一晃(第1・3・5) 八木 朋子(第2・4)	渡辺 正樹	上川路 和人
			(再) 上川路 和人 濱田 美奈子	東元 一晃 八木 朋子	渡辺 正樹 小園 智樹	東元 一晃 八木 朋子	東元 一晃
		アレルギー科					東元 一晃
		脳神経 内科	(新) 延原 康幸	尾山 琴海	徳田 真	園田 至人	今田 美南子
			(再) 園田 至人 今田 美南子	園田 至人	延原 康幸 (午後)園田 至人	園田 至人 尾山 琴海	園田 至人 徳田 真
		呼吸器 外科 (予約制)	(新) 久保田 伊知郎 吉本 健太郎			久保田 伊知郎 吉本 健太郎	
			(再) 久保田 伊知郎 吉本 健太郎			久保田 伊知郎 吉本 健太郎	
		消化器 内科	(新) 前田 拓郎	前田 拓郎	(胃カメラ/大腸カメラ)	(胃カメラ/大腸カメラ)	前田 拓郎
			(再) (胃カメラ/大腸カメラ) 前田 拓郎	前田 拓郎			
		糖尿病内科	(新)	伊集院 綾子			伊集院 綾子
			(再)	伊集院 綾子		植村 和代 14:00～17:00	伊集院 綾子
		放射線科	(新)				
			(再)			西田 博利	
		放射線治療(予約制) 13:00～16:00	高江洲 伸	高江洲 伸	高江洲 伸	高江洲 伸	高江洲 伸
		循環器内科 (予約制)	(新) 西 晴香	宮内 孝浩		宮内 孝浩	西 晴香
			(再) 宮内 孝浩	西 晴香	宮内 孝浩	西 晴香	宮内 孝浩
		心筋シンチ	○	○		○	○
		健康管理手帳所持者に対する健康診断	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治
	10:00～13:00 緩和ケア棟:面談室	緩和ケア初診/相談 (予約制)	東元 一晃			東元 一晃	
	14:00～15:00	禁煙外来 (予約制)				是枝 快房	
	8:30～11:00	睡眠時無呼吸外来			○		
小児 外 来	9:30～11:00	小児科	岡本 真道		岡本 真道		岡本 真道
		腎臓外来 (予約制)					吉留 幸一
小児 神 経 外 来	9:30～11:00	アレルギー外来 (予約制)	岡本 真道				
	9:00～13:00	小児科 (予約制)		四俣 一幸 米衛 ちひろ 馬場 悠生		四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山 瑞葵	
	14:00～16:00	小児科 (予約制)		四俣 一幸 米衛 ちひろ 馬場 悠生	四俣 一幸 馬場 悠生	四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山 瑞葵	

※予約制となっている診療科にご紹介いただく場合は事前にご連絡をお願いいたします。(※急患の場合は、その旨電話でお伝えください。)

※セカンドオピニオン外来は完全予約制です。詳細は、当院のホームページ(<https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>)をご覧ください。

※予約のご連絡は13時～16時の間にお願いいたします。また、診療に関するお問合せにつきましても、できるだけ13時～16時の間にお願いいたします。

※緩和ケア外来の予約は、がん相談支援センター(0995-62-3677)にお問い合わせください。 ※小児科への入院のご依頼の際は、お電話でご一報ください。

南九だより 2023秋号 Vol.37 2023年11月 発行

発行：独立行政法人国立病院機構 南九州病院 地域医療連携室 編集発行人：園田 至人
〒899-5293 鹿児島県姶良市加治木町木田1882 TEL:0995-63-0843・FAX:0995-63-0840
地域医療連携室(直通) TEL:0995-63-0843・FAX:0995-63-0840
ホームページ <https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>